

逢見会長代行の

行不由徑

ゆくに
よみちによらず

その十 絶対に負けられない闘い ベルコ闘争



店長も支社長も業務委託契約

本誌でも何度かお伝えしたベルコ闘争。事件は2014年12月に発生しました。冠婚葬祭大手会社ベルコの代理店である札幌支社手稲支部で働くFA（葬儀施行アドバイザー）が労働組合を立ち上げようとしたところ、ベルコ本社が妨害に入り、この代理店との業務委託契約を突然打ち切り、手稲支部は閉鎖廃業に追い込まれてしまったのです。手稲支部で働いていた従業員からは新しい代理店に雇用されましたが、組合結成の中心メンバー2人だけは採用を拒否され事実上解雇されました。

組合結成の中心となった2人は、2014年7月から連合北海道に労働相談に行き、準備を進め、12月5日「組合結成準備委員会」を立ち上げたところ、その情報が会社側に漏れ、組合つぶしが行われたのでした。しかし、ベルコ社の圧力にも屈することなく、2015年1月に「全ベルコ労働組合」が結成され、情報労連に加盟し

街頭で訴える全ベルコ労働組合の高橋委員長

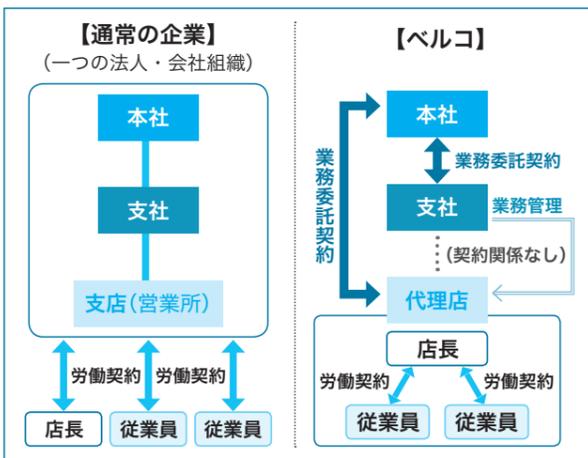


また、労働契約と違い、代理店との契約は簡単に解除できるのです。実際に契約期間を1年に設定し、特段の理由なく契約を打ち切るケースもありました。さらに契約打ち切りをちらつかせ、代理店や従業員へ不当なノルマやペナルティを設定していました。労働法は守る必要がなく、従業員を勝手に使い放題。もし、このようなビジネスモデルが合法ということになれば、日本の雇用社会はガタガタに崩れてしまいます。

連合は、「全ベルコ労働組合裁判闘争対策チーム」を立ち上げ、私が座長となって、連合本部、連合北海道、情報労連、弁護団との連携を図りながら原告団を支えてきました。2018年9月に札幌地裁で判決が出されました。地裁の判断はベルコの使用者性を否定するものでした。私たちは敗北しませんでした。一方、北海道労委は、2019年6月にベルコの不当労働行為と、労組法上の使用者性を認め、申立人（解雇された組合役員）の復職、賃金のバックペイ、ベルコの誠実団交の実施、支配介入の禁止、ベルコによる謝罪文の掲示を命じたものでした。こちらは私たちの全面勝利の内容でした。

明暗を分ける結果になり、現在は札幌高裁、中央労働委員会に係争中です。

ました。組合はベルコに団交を申し入れましたが、ベルコは使用者ではないとして団交を拒否。6月1日、組合は北海道労働委員会に不当労働行為救済の申立をしました。また、7月15日に札幌地裁にも、雇用関係の維持と賃金の支払いを求める訴えを起しました。



ベルコが通常の企業と違うのは、本社以外はすべて業務委託契約をとっていること。図の左は通常の企業の場合です。本社、支社、支店（営業所）は一つの法人・会社組織になっています。しかし、ベルコは図の右のようになっています。従業員の7002名（2017年3月現在）のうち99・5%が業務委託契約か、委託先代理店で雇用された労働者です。正社員はわずか35名。代理店の店長だけではなく支社長も業務委託契約です。しかし、業務委託契約とは言っても、代理店には独立した裁量権はなく、ベルコ本社の指示の下、人事異動や業務管理やノルマが課せられており、組織の実態は通常の企業と何ら変わりはありません。

目的は雇用責任の回避

なぜ、ベルコはこのような業務委託形式をとるのでしょうか。最も大きな理由は雇用責任の回避です。ベルコは労働時間や休日の管理をすべて代理店に押しつけ、労働保険や社会保険の負担もすることなく、また業務上の災害の責任もとる必要がありません。労働法を守らなくても良いのです。

中労委での勝利に向けて

2月14日に、連合会館で「ベルコ闘争支援緊急集会」絶対負けられない闘い」を開きました。この集会で基調講演をされた石田眞早稲田大学名誉教授は、ベルコのビジネスモデルは19世紀、近代技術が導入される以前の鉱山業において見られた事業主と労働者の間に親方（納屋頭）が介在したモデルに類似していると指摘し、これが20世紀の資本主義経済の発展によって雇用契約に収められたのが、21世紀になって就労形態・契約形態の多様化によって「雇用によらない働き方」の1タイプとして、あらゆる段階で中間の代理店や末端の労働者をコントロールしようとするものと位置づけられました。19世紀型モデルが変異して、より労働者を激しく搾取する形態で再登場したのです。ゾンビみたいですね。

ベルコ事件を知って

- こんな会社がいまだにあるんだ。働き方の裏をかいた悪徳会社ですな。
- 噂に聞いた通りだったのですね
- 広告費より人件費に金を使え!!!

元従業員やその知人、利用者からのコメント

- 昔、働いたことがあります。すぐ辞めました。いつ人が亡くなるかわからないからね、といわれソフトも無し、直前に呼び出した記憶が。私も代理店で働いていたけどあんなに酷いところ見たことない。

応援メッセージ

- しっかり追及すべき。
- ぜひ国会で取り上げて、内閣全体が問題意識を持つように意識改革すべきです。
- 連合がんばってください。心から願います。

私たちは、こうしたコメント、メッセージを重く受け止めて、ベルコ裁判闘争を闘い抜く決意です。

※ベルコ闘争については2019年8・9月合併号で特集しています。